

平成 21 年度調査・研究事業

村上市交流人口拡大に向けた「観光まちづくり」推進方策調査《新潟県村上市》

【概要】

新潟県北の城下町である村上市は、新潟県下越地方の中心都市であり、歴史的・文化的に特異性のある観光素材を有している。

かつては村上市城下を起点に庄内鶴岡へと通じる出羽街道があり、かの松尾芭蕉が庄内地域からこの道を通り村上市の旅籠に宿泊したほか、近郊には瀬波温泉という観光資源もある。また、近年では、城下町村上市の「町屋の外観再生プロジェクト」が内閣総理大臣賞を受賞するなど全国的にも注目を集めている。

現在、平成20年4月の市町村合併後の新村上市(旧1市2町2村 村上市, 荒川町, 神林村, 朝日村, 山北町)においては、地域力の強化に向けての交流人口の拡大が重要な政策課題となっている。

本調査は、町屋保全活動で注目を浴びている村上市において、出羽街道や瀬波温泉との係わりを活かして、さらなる交流人口の増加をはかることを目的に、同市における交流資源(歴史, 潜在力, 地域資源等)を再評価し、課題の把握・分析を行い、出羽街道, 瀬波温泉, 町屋から成る三位一体の「観光まちづくり」戦略を検討・立案するものである。

【対象市町村、モデル地域等】

村上市(旧1市2町2村 村上市, 荒川町, 神林村, 朝日村, 山北町)

【調査年度】

平成 21 年度～平成 22 年度

【提案・要請者】

【提言内容・その後の活動等】

平成21年度においては、交流資源を把握・整理するため、既存資料の調査・分析、関係者へのヒアリング調査等により、地域の有する観光素材の特色とその現状と課題などについての基礎調査を実施した。

平成22年度においては、前年度に調査した基礎データをもとに、調査・ヒアリングの深堀を行い、地元官民、有識者等を加えた研究会を設置することより、まち並み空間戦略、訴求戦略など総合的な「観光まちづくり戦略」策定の検討・立案を行う。

なお、研究会のもとに、必要に応じて具体的検討を行うワーキンググループを設置する予定である。

【成果品】

【調査体制】

【委員長・座長】

【事務局】(MICT は除く)

【調査協力機関】

株式会社東北地域環境研究室

【視察先・ヒアリング先など】

【委員等】(分科会等は除く)

【特記事項】

【区分】

プロジェクト発掘・支援